

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法評価学実習		必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
元山 美緒 他	D320	mio.motoyama	水曜日 14:40～16:10		
授業の目的・概要	理学療法は、対象疾患に対して評価を行い、行った評価から問題点を抽出し、その問題点に対して介入を行うことになる。理学療法評価学実習では、理学療法評価学で学んだ内容を深め、障害内容に対応した評価項目の抽出、実施方法を習得し、評価内容の解釈および問題点の抽出方法を身につけることを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	理学療法対象疾患に実施する基本的な評価内容に関する実技を中心とした講義となるため、解剖学および運動学の知識と整形外科および神経内科等で学んだことを復習しておくことが望ましい。				
教科書	理学療法評価学 改訂第6版/著：松澤 正、江口勝彦/金原出版				
参考書	新・徒手筋力検査法 原著第10版/著：Dale Avers 他 津山直一、中村耕三(翻訳)/協同医書出版社				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	理学療法対象疾患に用いる基本的な評価内容について説明できる。			PT (1)、(2)、(3)	
②	理学療法対象疾患に用いる基本的な評価を実践できる。			PT (1)、(2)、(3)、(5)	
③	評価項目を選定し、評価結果の解釈ができる。			PT (1)、(2)、(5)	
④	評価内容から推察される問題点について考えることができる。			PT (1)、(2)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	理学療法評価の意義と目的、ICF、形態測定、関節可動域検査について学ぶ。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0
2	模擬症例に対して形態測定、関節可動域検査を実践する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0
3	脳血管疾患の運動機能評価 (Brunnstrom stage や筋緊張)、病的反射の意義と解釈を学ぶ。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0
4	模擬症例に対して脳血管疾患の運動機能評価を実践する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0
5	協調運動障害の評価とバランス能力の評価の意義と解釈を学ぶ。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0
6	模擬症例に対して協調運動障害の評価とバランス能力の評価を実践する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0
7	日常生活動作の評価や高次脳機能検査の意義と解釈を学ぶ。 [担当: 駒形]	講義、GW、 実技			0
8	模擬症例に対して日常生活動作の評価や高次脳機能検査を実践する。 [担当: 駒形]	講義、GW、 実技			0
9	模擬症例 (中枢神経疾患) に対して評価項目の抽出・関連性の検討を実践する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0
10	模擬症例 (中枢神経疾患) に対して評価項目の実践を行う。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0
11	中枢神経系の症例に対する総復習を実施する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0
12	中枢神経系の症例に対する総復習を実施する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技			0

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)
13	疼痛の評価、感覚検査、歩行機能評価の意義と解釈を学ぶ。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技	0
14	模擬症例に対して疼痛の評価、感覚検査、歩行機能評価を実践する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技	0
15	筋力 (MMT など)、腱反射の測定意義と解釈を学ぶ。 [担当: 大塚]	講義、GW、 実技	0
16	模擬症例に対して筋力測定、腱反射を実践する。 [担当: 大塚]	講義、GW、 実技	0
17	整形外科検査の意義と解釈について学ぶ。 [担当: 粕山]	講義、GW、 実技	0
18	模擬症例 (整形外科疾患) に対して整形外科検査を実践する。 [担当: 粕山]	講義、GW、 実技	0
19	模擬症例 (整形疾患) に対して評価項目の抽出・関連性の検討を実践する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技	0
20	模擬症例 (整形疾患) に対して評価項目の実践を行う。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技	0
21	整形症例に対する総復習を実施する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技	0
22	整形症例に対する総復習を実施する。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技	0
23	これまでにを行った検査項目の総復習を行う。 [担当: 元山]	講義、GW、 実技	0
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照		

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	20	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	10	0	10	70
	思考・推論・創造する力	0	0	5	0	0	5
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	①	②		
試験	①	✓	筆記試験を実施して達成度評価する。実技試験は症例に基づいた評価項目の理解度を問う。	試験の添削、開示
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	駒形 純也、大塚 篤也、粕山 達也			
教員の実務経験	経験年数：6年 回復期病院にて亜急性～回復期の呼吸器、循環器、脳血管疾患を担当。急性期病院では整形外科(TKA、THA など)、呼吸器内科疾患(COPD、IP など)、循環器内科疾患(一般的な心不全)、脳血管疾患(脳梗塞、パーキンソン病など)、糖尿病、がん(血液腫瘍内科、消化器外科)の患者を担当。			
実践的授業の内容	臨床現場で使用する機会が多い評価方法について実技を中心に教示するとともに、実際の症例に基づいた評価方法の工夫点なども加えた実践的な指導を行う。			
そ の 他	授業中の私語は禁止とする。口頭注意により授業態度が改善しない場合、退室を命じることがある。本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。感染対策を遵守できない学生は面接授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性のあることに留意してほしい。			